



高木東六

東京音楽学校を昭和3年に卒業、パリ留学、卒業後、ピアニスト、作曲家として、多彩な活動をしていました。オペラ「春香伝」を始めとして、オーボエによるが殊に、シャンソン歌曲等は数百曲に及んでいます。市内町出身である。



北島基子

東京高等師範学校附属小学校、跡見女学校、東京千鶴子、ウーファ・ペニッヒ、四家文子、藤田高木東六氏に師事、鎌倉女学院講師、ピクター

生まれた米子はなつかしい

はNHKの「音楽夢くらべ」の録音で、おまごとに来て下さい」という交渉をした。随分遠い将来のことのように思って、とうやって来たわけで、今

は、特にぼくにはなつかしいいろいろな昔の米子の内町、などという山の名前が思い出の響きなのです。

米子に生れて、四歳までおりました。そこをみて、いつのまにか、甘えてなっています。

音を聴いた時、ぼくの生れた家が、うききました。ぼくはその生家を訪ねて、そとき、その木に、おいたを

きこ聽えって来ました。それから、おまごろしが浮んできました。幼い頃はこれなかったのです。

さて、ぼくの米子行は、今迄の他

であります。

書きたいと希いながら――

高木
東六
北島基子

二重いさつ

主は伊音のみなさまのご好意に、お詫び先生がお忙しいなかを共演して下さりましょう。

歌、由田さんの歌は、どれも、なかなか、これ等、"日本のシャンソン"で、叶わきたい……と云うのが私達の心で、至らぬながら、せめてお詫びします。